

第144号議案 令和4年度 長崎市観光施設事業特別会計歳入歳出決算

目次	(ページ)
1 事項別総括表	1
[グラバー園費]	
2 事項別内訳表(グラバー園)	2
3 グラバー園運営費	3~4
4 【補助】耐震化推進事業費(旧長崎地方裁判所長官舎)	5~7
5 【補助】耐震化推進事業費(旧自由亭)	8~9
6 【単独】グラバー園施設整備事業費(エスカレータ改修)	10~12
7 参考(1) グラバー園入園者数	13
8 参考(2) グラバー園入園者数推移	14
9 参考(3) グラバー園指定管理の概要等	15~17
[ロープウェイ費]	
10 事項別内訳表(ロープウェイ)	18
11 ロープウェイ事業運営費	19~20
12 夜景観光推進事業共催費負担金	21~22
13 【単独】索道施設整備事業費(長崎ロープウェイ設備)	23~26
14 参考(4) ロープウェイ利用者数	27~28
15 参考(5) ロープウェイ等利用者数推移	29~30
16 参考(6) ロープウェイ指定管理の概要等	31~32

令和4年度【現年度+繰越】観光施設事業特別会計 事項別総括表(グラバー園+ロープウェイ)

(単位:円)

入						出				
事項名	予算現額	決算見込額	差引増減	未収入 特定財源	翌年度に繰越 すべき財源額	事項名	予算現額	決算見込額	差引増減	翌年度繰越額
1 使用料及び手数料	290,000	286,875	▲3,125		-	1 グラバー園費	266,449,000	207,806,185	58,642,815	-
1 グラバー園使用料	11,000	11,358	358		-	1 グラバー園事業費	196,234,000	137,697,054	58,536,946	-
(1) 休憩所使用料	1,000	-	▲1,000		-	1 職員給与費	19,758,000	11,397,913	8,360,087	-
(2) 土地使用料	10,000	11,358	1,358		-	2 グラバー園管理費	63,988,000	25,054,618	38,933,382	-
2 ロープウェイ使用料	279,000	275,517	▲3,483		-	( 経常経費小計: 1~2 )	83,746,000	36,452,531	47,293,469	-
(1) 建物使用料	275,000	271,057	▲3,943		-	3 基金積立金	1,104,000	1,102,877	1,123	-
(2) 土地使用料	4,000	4,460	460		-	4【補助】耐震化推進事業費	88,384,000	79,626,646	8,757,354	-
2 国庫支出金	25,880,000	22,359,000	▲3,521,000		-	5【単独】グラバー園施設整備事業費	23,000,000	20,515,000	2,485,000	-
1 グラバー園費国庫補助金	25,880,000	22,359,000	▲3,521,000		-	( 投資的経費小計: 4~5 )	111,384,000	100,141,646	11,242,354	-
3 県支出金	3,073,000	2,663,000	▲410,000		-	2 公債費	70,215,000	70,109,131	105,869	-
1 グラバー園費県補助金	3,073,000	2,663,000	▲410,000		-	1 元金	69,575,000	69,565,488	9,512	-
4 財産収入	1,101,000	1,102,877	1,877		-	2 利子	640,000	543,643	96,357	-
1 利子及び配当金	1,101,000	1,102,877	1,877		-	2 ロープウェイ費	195,134,000	189,747,639	5,386,361	-
5 繰入金	185,727,000	80,262,662	▲105,464,338		-	1 ロープウェイ事業費	150,942,000	145,791,518	5,150,482	-
1 一般会計繰入金	74,612,000	28,208,222	▲46,403,778		-	1 ロープウェイ事業管理費	107,442,000	105,069,518	2,372,482	-
2 観光施設整備基金繰入金	111,115,000	52,054,440	▲59,060,560		-	( 経常経費小計: 1 )	107,442,000	105,069,518	2,372,482	-
6 諸収入	216,549,000	257,916,410	41,367,410		-	2 ロープウェイ施設整備事業費	43,500,000	40,722,000	2,778,000	-
1 グラバー園利用料金受入金	142,575,000	144,456,422	1,881,422		-	( 投資的経費小計: 2 )	43,500,000	40,722,000	2,778,000	-
2 ロープウェイ利用料金受入金	73,870,000	102,460,032	28,590,032		-	2 公債費	44,192,000	43,956,121	235,879	-
3 ロープウェイ光熱水費等負担金	102,000	119,745	17,745		-	1 元金	43,764,000	43,744,077	19,923	-
4 雑入	2,000	10,880,211	10,878,211		-	2 利子	428,000	212,044	215,956	-
7 市債	33,200,000	31,200,000	▲2,000,000		-	3 予備費	6,000,000	-	6,000,000	-
1 グラバー園債	18,700,000	17,700,000	▲1,000,000		-	1 グラバー園	5,000,000	-	5,000,000	-
2 ロープウェイ債	14,500,000	13,500,000	▲1,000,000		-	2 ロープウェイ	1,000,000	-	1,000,000	-
8 繰越金	1,763,000	1,763,000	-		-					
1 グラバー園	1,763,000	1,763,000	-		-					
特定財源計	392,971,000	369,345,602	▲23,625,398	-	-	特定財源計	392,971,000	369,345,602	23,625,398	-
一般財源計	74,612,000	28,208,222	▲46,403,778	-	-	一般財源計	74,612,000	28,208,222	46,403,778	-
合計	467,583,000	397,553,824	▲70,029,176	-	-	合計	467,583,000	397,553,824	70,029,176	-

- ①形式収支額: -
- ②翌年度繰越額: -
- ③未収入特定財源額: -
- ④翌年度に繰越すべき財源額(②-③): -
- ⑤実質収支額(①-④): -



歳入歳出決算事項別明細書					事業名	決算額
ページ	款	項	目	番号		
346 ～ 347	1 グラバー園費	1 グラバー園 事業費	1 グラバー園 管理費	2-1	グラバー園運営費	円 24,813,786

## 1 概要

施設の適正な運営・維持管理及び利用者に対するサービスの提供等を行うための経費。

## 2 事業内容

事項	決算額(円)
(1)施設修繕料 ア グラバー通り石積修繕(902,000円) イ 長崎伝統芸能館修繕(880,000円) ウ 長崎伝統芸能館外壁巾木タイル修繕(390,500円) エ 旧リンガー住宅屋根修繕ほか(398,200円)	2,570,700
(2)委託料 ア グラバー園展示品等廃棄物処理委託(39,050円) イ グラバー園埋設物維持管理計画策定委託(14,300,000円) ウ グラバー園動く歩道すりガラスフィルム貼付委託(497,750円) エ 洋ラン管理委託(149,600円) オ 坂本国際墓地供花委託(304,920円) カ 旧オルト住宅等展示品移送委託(3,905,000円) キ 旧グラバー住宅展示品移送委託(495,000円)	19,691,320
(3)負担金及び補助金 ア 電算処理費負担(68,000円) イ 長崎間税会負担(4,000円) ウ 指定管理者光熱費等高騰支援補助(1,834,000円)	1,906,000
(4)その他の経費 ア 職員健康診断手数料(14,080円) イ 建物総合損害共済基金分担金(431,686円) ウ グラバー園展示品及びサーバの賃貸借(50,000円) エ グラバー園備品賃貸借に係る謝礼金の供託金(150,000円)	645,766

### 3 事業費と財源内訳

(単位:円)

事業名	決算額	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他 ※1	一般財源 ※2
グラバー園運営費	24,813,786	—	—	—	22,979,786	1,834,000

※1 土地使用料(11,358円)、観光施設整備基金繰入金(2,570,700円)、利用料金受入金(20,397,728円)

※2 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を一般会計繰入金として受入

(単位:円)

事業名	予算現額	決算額	不用額
グラバー園運営費	63,630,000	24,813,786	38,816,214

### 4 主な不用額の理由

公課費(消費税)の支出の皆減(20,000,000円)及び修繕費の減(17,453,300円)等によるもの。

歳入歳出決算事項別明細書					事業名	決算額
ページ	款	項	目	番号		
346 ～ 347	1 グラバー園費	1 グラバー園 事業費	1 グラバー園 管理費	4-1	【補助】耐震化推進事業費 旧長崎地方裁判所長官舎	円 67,265,946

## 1 概要

グラバー園旧長崎地方裁判所長官舎は、明治16年に建築され、昭和54年に現在の位置に移築された建物であるが、躯体全体の老朽化が進んでおり、令和2年度に耐震診断を行った結果、耐震基準を満たしていないことが判明したので、利用者の安全性を確保するため、耐震補強等工事を実施するもの。

## 2 事業内容

事項	決算額(円)
(1)委託料 旧長崎地方裁判所長官舎耐震補強工事に係る仮設足場等管理委託料(389,994円)	389,994
(2)工事費 ア 耐震補強ほか工事(46,792,952円) 契約金額:142,659,000円(うち、令和4年度決算額:46,792,952円、令和5年度支払限度額:47,647,306円、令和6年度支払限度額:48,218,742円) 契約期間:令和4年12月1日～令和6年9月4日 イ 解体格納ほか工事(20,083,000円) 契約金額:32,359,000円(うち、令和3年度決算額:12,276,000円、令和4年度決算額:20,083,000円) 契約期間:令和4年2月2日～10月2日	66,875,952

### 3 事業費と財源内訳

(単位:円)

事業名	決算額	財源内訳				
		国庫支出金※1	県支出金※2	地方債※3	その他※4	一般財源
【補助】耐震化推進事業費 旧長崎地方裁判所長官舎	67,265,946	16,179,000	1,941,000	15,900,000	33,245,946	—

※1 国宝重要文化財等防災施設整備費補助金 補助率1/2

※2 指定文化財保存整備事業補助金 補助率6%

※3 耐震化推進事業債(充当率100%)

※4 前年度繰越金(1,763,000円)、観光施設整備基金繰入金(31,482,946円)

(単位:円)

事業名	予算現額	決算額	不用額
【補助】耐震化推進事業費 旧長崎地方裁判所長官舎	68,984,000	67,265,946	1,718,054

### 4 主な不用額の理由

旧長崎地方裁判所長官舎耐震補強ほか工事の入札差金(1,707,048円)等によるもの。

### 5 事業スケジュール

令和3年度	令和4年度				令和5年度				令和6年度	
1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月
<p>契約① 解体格納ほか工事 事業費:32,359,000円 契約期間:令和4年2月2日~10月31日</p>				<p>契約② 耐震補強ほか工事 事業費:142,659,000円 契約期間:令和4年12月1日~令和6年9月4日</p>						

## 6 参考(位置図)

旧長崎地方裁判所長官舎

建築年: 明治16年築(昭和54年移築)

構造: 木造2階建

延床面積: 155.84㎡

その他: 文化財(伝統的建造物)





歳入歳出決算事項別明細書					事業名	決算額
ページ	款	項	目	番号		
346 ～ 347	1 グラバー園費	1 グラバー園 事業費	1 グラバー園 管理費	4-2	【補助】耐震化推進事業費 旧自由亭	円 12,360,700

### 1 概要

グラバー園旧自由亭は、明治11年に建築され、昭和49年に現在の位置に移築された建物であるが、利用者の安全性を確保するために、建物の耐震診断及び耐震補強等実施設計を行うもの。

### 2 事業内容

事項	決算額(円)
(1)委託料 旧自由亭耐震診断・耐震補強実施設計委託料(12,360,700円)	12,360,700

### 3 事業費と財源内訳

(単位:円)

事業名	決算額	財源内訳				
		国庫支出金※1	県支出金※2	地方債※3	その他※4	一般財源
【補助】耐震化推進事業費 旧自由亭	12,360,700	6,180,000	722,000	1,800,000	3,658,700	—

※1 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金 補助率1/2

※2 指定文化財保存整備事業補助金 補助金6%

※3 耐震化推進事業債(充当率100%)

※4 観光施設整備基金繰入金

(単位:円)

事業名	予算現額	決算額	不用額
【補助】耐震化推進事業費 旧自由亭	19,400,000	12,360,700	7,039,300

#### 4 主な不用額の理由

旧自由亭耐震診断・耐震補強実施設計業務委託の入札差金によるもの。

#### 5 参考(位置図)

旧自由亭

建築年: 明治11年築(昭和49年移築)

構造: 木造2階建

延床面積: 167.91㎡

その他: 文化財(伝統的建造物)



歳入歳出決算事項別明細書					事業名	決算額
ページ	款	項	目	番号		
346 ～ 347	1 グラバー園費	1 グラバー園 事業費	1 グラバー園 管理費	5-1	【単独】グラバー園施設整備事業費 エスカレータ改修	円 20,515,000

## 1 概要

グラバー園内のエスカレータ及び動く歩道の経年劣化に伴い、利用者の利便性の向上及び安全性の確保を図るため、各種部品の取替等の年次改修工事を行ったもの。

## 2 事業内容

- (1) 件名 エスカレータほか改修工事
- (2) 工事内容

対象		主な内容
エスカレータ	A1号機	減速機ギアオイル取替、トラス清掃・補修、追従ローラー取替、サイドローラー取替ほか
	A2号機	減速機ギアオイル取替、トラス清掃・補修、減速機総取替、ステップチェーン取替、駆動モーター取替ほか
動く歩道	A3号機	加圧ローラ取替、手摺駆動ローラ取替ほか
	A4号機	Vベルト取替、トラス清掃・点検

- (3) 契約金額 20,515,000円
- (4) 契約期間 令和4年11月4日～令和5年3月24日
- (5) 契約方法 1者随意契約

### 3 事業費と財源内訳

(単位:円)

事業名	決算額	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他 ※1	一般財源
【単独】グラバー園施設整備事業費 エスカレータ改修	20,515,000	—	—	—	20,515,000	—

※1 観光施設整備基金繰入金(14,048,975円)、利用料金受入金(6,466,025円)

(単位:円)

事業名	予算現額	決算額	不用額
【単独】グラバー園施設整備事業費 エスカレータ改修	23,000,000	20,515,000	2,485,000

### 4 主な不用額の理由

エスカレータほか改修工事に係る契約差金(2,385,000円)及び印刷製本費(100,000円)が皆減になったことによるもの。



## 5 参考(位置図)

### 動く歩道A3・A4号機

A3号機:平成25年12月13日供用開始

L=55.9m 傾斜角:12度

A4号機:平成26年10月4日供用開始

L=64.1m 傾斜角:12度



### エスカレータA1・A2号機

A1号機:昭和63年3月供用開始

L=12.59m 傾斜角:30度

A2号機:昭和63年3月供用開始

L=12.47m 傾斜角:30度



参考(1) グラバー園入園者数

1 グラバー園入園者数

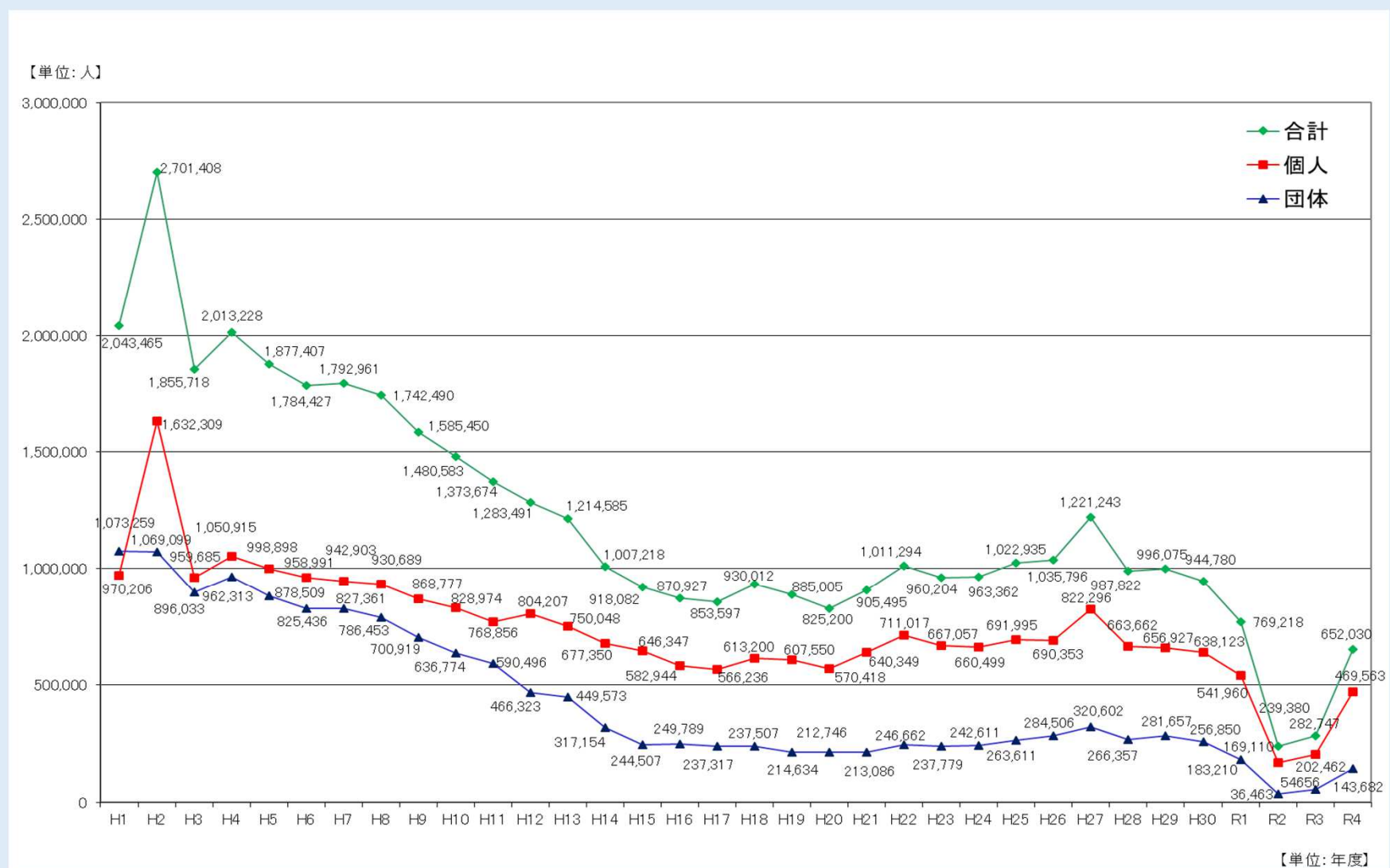
【単位：人】

年度		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
		令和2年度	個人	1,390	-	3,063	8,178	10,942	16,539	28,641	44,459	28,711	3,954	4,919	18,314
団体	220		-	328	1,410	1,709	3,009	6,488	10,456	6,904	368	587	4,984	36,463	
夜間独占利用	-		-	-	-	-	-	-	585	-	-	-	-	585	
無料	192		-	2,699	2,084	2,213	4,473	4,886	5,381	5,237	1,099	1,578	3,380	33,222	
計	1,802		-	6,090	11,672	14,864	24,021	40,015	60,881	40,852	5,421	7,084	26,678	239,380	
令和3年度	個人	12,805	-	4,975	13,938	4,740	6,982	25,652	43,418	37,581	15,054	4,031	33,286	202,462	
	団体	2,662	-	727	3,064	670	1,030	7,554	12,693	16,902	2,574	577	6,203	54,656	
	夜間独占利用	-	-	-	-	-	-	532	469	197	47	-	-	1,245	
	無料	1,661	-	721	1,624	373	2,385	3,409	4,482	4,085	3,340	249	2,055	24,384	
	計	17,128	-	6,423	18,626	5,783	10,397	37,147	61,062	58,765	21,015	4,857	41,544	282,747	
令和4年度	個人	27,938	47,337	24,957	24,221	35,197	30,058	49,141	61,918	45,825	29,988	37,605	55,378	469,563	
	団体	6,777	14,808	11,310	7,475	8,481	10,036	18,508	18,856	13,322	7,445	10,252	16,412	143,682	
	夜間独占利用	-	625	236	88	-	-	239	200	136	-	-	280	1,804	
	無料	2,483	3,796	2,547	1,827	2,410	4,511	4,228	4,892	3,246	1,797	2,274	2,970	36,981	
	計	37,198	66,566	39,050	33,611	46,088	44,605	72,116	85,866	62,529	39,230	50,131	75,040	652,030	

○新型コロナウイルス感染症にかかる休館期間等  
 【令和3年度】4/28～6/7(41日間)・8/10～9/12(34日間)・1/21～2/20(31日間)  
 【令和4年度】なし

## 参考(2) グラバー園入園者数推移

### 1 グラバー園入園者数推移



※「合計」は「個人」「団体」「夜間独占利用」「無料」の総数

## 参考(3) グラバー園指定管理の概要等

### 1 指定管理者制度の導入

施設の管理運営に民間の能力やノウハウを活用しつつ、市民サービスの向上や行政コストの削減による経済効果が見込めることから、地方自治法第244条の2第3項の規定に基づき、グラバー園においては、平成20年度から指定管理者制度を導入しており、現在、第4期(令和4年4月1日から令和9年3月31日まで)の指定期間中である。

### 2 指定管理者の概要(第4期 令和4年度)

- (1) 指定管理者名  
長崎南山手グラバーパートナーズ共同事業体  
構成団体: 株式会社メモリード、株式会社クリーン・マット、株式会社水樹
- (2) 指定管理期間  
令和4年4月1日から令和9年3月31日まで(5年間)
- (3) 選定方法  
公募(応募団体2者)
- (4) 利用料金制度  
管理運営にあたっては地方自治法第244条の2第8項の規定に基づく利用料金制を採用している。
- (5) 長崎市への納付金  
指定管理者は、利用料金収入のうち、一定の金額を長崎市へ納付することとなっている。  
  
ア 固定納付金  
令和4年度は128,200千円、令和5年度は202,200千円、令和6年度は224,000千円、令和7年度は232,200千円、令和8年度は237,600千円とし、年度ごとに四半期に分割して納付する。



### 参考(3) グラバー園指定管理の概要等

#### 2 指定管理者の概要（第4期 令和4年度）

##### イ 変動納付金

利用料金収入額が年度ごとに定める金額（令和4年度：325,697,000円、令和5年度：388,693,000円、令和6年度：452,181,000円、令和7年度：474,887,000円、令和8年度：497,616,000円）を超えた場合、その超えた金額について、年度ごとに定める金額の10%までは全額指定管理者の収入とし、10%を除いた残りの50%に相当する額を市に納付する。

自主事業により利益が生じた場合、各事業ごとの利益の10%までを全額指定管理者の収入とし、10%を除いた残りの50%を市へ納付する。

#### 3 指定管理者の主な取り組み

名称	期日など	取組み内容
(1) グラバー園保存活用検討委員会	適宜開催	指定管理者、有識者及び長崎市により構成。世界文化遺産の構成資産である旧グラバー住宅も含め、園内の指定文化財及び貴重な洋館の保存、有効活用をテーマに協議を行った。
(2) グラバー園内ツアー	通年	ガイドスタッフが来園者と周遊しながら案内を行う園内ツアーを実施。
(3) ライトアップ事業	6月以降	現行の照明機材に最新の照明技術を導入。園内各所へ時間の経過とともに色が変わる幻想的なライトアップと光の演出を創出。通常とは異なるグラバー園の夜の魅力を引き出し夜間来園者の満足度向上を図った。
(4) フォトサービス事業	12月以降	専属カメラマンによる写真撮影サービス。撮影希望者にはミニ写真を無料贈呈し、利便性向上と顧客満足度向上を図った。また別に台紙付のオリジナルプレート写真を販売。

### 参考(3) グラバー園指定管理の概要等

#### 3 指定管理者の主な取り組み

名称	期日など	取り組み内容
(5) グラバーカフェ事業	通年	非日常的な空間における「憩いの場」を提供する事を目的として麒麟ビール・BANZAIサイダーなどグラバー園に関わる商品販売のほか、お客様がより快適に過ごせるよう商品開発に努めた。
(6) VRコンテンツ事業	通年	園内外で博物館VRコンテンツの分野で実績のある、タイムルーパー社によるVRコンテンツ事業。パークガフニ名誉園長による監修に基づき、グラバーの歴史、居留地の歴史を最新技術で蘇らせ、園内施設で体感することにより、来園者の満足度向上に努めた。
(7) XR・プロジェクションマッピング事業	通年	入園者が一番最初に訪れる旧三菱第2ドックハウスを「ゲートウェイ・ゾーン」と位置づけ、先進技術のガイダンス機能を設置。グラバーの姿をホログラムで再現・プロジェクションマッピングにてガイダンスすることにより幅広い層のお客様が予備知識を持って園内散策できる機能の拡充を図った。
(8) レトロ衣装貸出事業	通年	既存のレトロ衣装のほか、アニメとのコラボ衣装やオリジナル衣装など種類を拡充し、来園者の満足度の向上を図った。また若年層の利用者やリピーター獲得のため、「レトロナガサキ(ドレスイベント)」を開催した。
(9) マルシェ事業	適宜	グラバー園で最もニーズの高いものが食事機能であるため、随時移動販売車による軽食の販売を行い来園者の満足度向上に努めた。
(10) 名誉園長による歴史講座ツアー	適宜	外国人居留地研究の第一人者でもあるブライアン・パークガフニ名誉教授による机上講演付の園内ツアーを実施。専門家の講座を設けることで、居留地ブランドの拡充に努めるとともに来園者の満足度向上に努めた。

令和4年度【現年度】観光施設事業特別会計 事項別内訳表(ロープウェイ)

(単位:円)

歳 入				歳 出			
事 項 名	予算現額	決算見込額	差引増減	事 項 名	予算現額	決算見込額	差引増減
1 使用料及び手数料	279,000	275,517	▲3,483	1 ロープウェイ費	195,134,000	189,747,639	▲5,386,361
1 建物使用料	275,000	271,057	▲3,943	1 ロープウェイ事業費	150,942,000	145,791,518	▲5,150,482
2 土地使用料	4,000	4,460	460	1 ロープウェイ事業管理費	107,442,000	105,069,518	▲2,372,482
2 繰入金	101,620,000	26,667,341	▲74,952,659	(1)ロープウェイ事業運営費	84,468,000	82,650,177	▲1,817,823
1 ロープウェイ事業費一般会計繰入金	72,620,000	26,374,222	▲46,245,778	(2)夜景観光推進事業共催費負担金	22,974,000	22,419,341	▲554,659
2 観光施設整備基金繰入金	29,000,000	293,119	▲28,706,881	( 経常経費小計 : 1 )	107,442,000	105,069,518	▲2,372,482
3 諸収入	73,973,000	102,579,777	28,606,777	2 【単独】索道施設整備事業費	43,500,000	40,722,000	▲2,778,000
1 ロープウェイ利用料金受入金	73,870,000	102,460,032	28,590,032	(1)長崎ロープウェイ設備	43,500,000	40,722,000	▲2,778,000
2 ロープウェイ電気使用料負担金	102,000	119,745	17,745	( 投資的経費小計 : 2 )	43,500,000	40,722,000	▲2,778,000
3 その他	1,000	-	▲1,000	2 公債費	44,192,000	43,956,121	▲235,879
4 市債	14,500,000	13,500,000	▲1,000,000	1 元金	43,764,000	43,744,077	▲19,923
1 ロープウェイ事業債	14,500,000	13,500,000	▲1,000,000	2 利子	428,000	212,044	▲215,956
				2 予備費	1,000,000	-	▲1,000,000
特定財源計	117,752,000	116,648,413	▲1,103,587	特定財源計	123,514,000	163,373,417	39,859,417
一般財源計	72,620,000	26,374,222	▲46,245,778	一般財源計	72,620,000	26,374,222	▲46,245,778
合計	190,372,000	143,022,635	▲47,349,365	合計	196,134,000	189,747,639	▲6,386,361

収支差引: ▲46,725,004

歳入歳出決算事項別明細書					事業名	決算額
ページ	款	項	目	番号		
346 ～ 349	2 ロープウェイ 費	1 ロープウェイ 事業費	1 ロープウェイ 事業管理費	1-1	ロープウェイ事業運営費	円 82,650,177

## 1 概要

施設の適正な運営・維持管理及び利用者に対するサービスの提供等を行うための経費。  
令和4年度については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による利用者数の減少に伴い、利用料金収入が減少し、施設の運営経費に対する収入が不足することが見込まれることから、利用者サービスを安定して提供するため、令和3年度に引き続き指定管理委託料として、指定管理者に対し、不足する運営経費を支出したものの。

## 2 事業内容

事項	決算額(円)
(1)施設修繕料	880,000
(2)指定管理に係る委託料	69,463,054
(3)使用料及び賃借料 ア ロープウェイ淵神社駅舎等土地借上料(11,369,864円) 長崎ロープウェイの淵神社駅舎・待合所及び利用者駐車場のため土地の借り上げを行ったもの。 イ 大型バス転回場借上料(660,000円) 観光バスが安全に乗り入れ等を行うため土地の借り上げを行ったもの。 ウ 不定期観光バス駐車場借上料(22,128円) 観光バス用の臨時駐車場のため土地の借り上げを行ったもの。	12,051,992
(4)その他経費 ア 索道技術管理者報酬(60,000円) イ 建物総合損害共済等保険料(195,131円)	255,131

### 3 事業費と財源内訳

(単位:円)

事業名	決算額	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他 ※1	一般財源※2
ロープウェイ事業運営費	82,650,177	—	—	—	56,275,955	26,374,222

※1 建物使用料(271,057円)、土地使用料(4,460円)、光熱水費等負担金(119,745円)、  
利用料金受入金(23,046,664円)、グラバー園事業の黒字分(32,834,029円)

※2 一般会計繰入金(26,374,222円)

(単位:円)

事業名	予算現額	決算額	不用額
ロープウェイ事業運営費	84,468,000	82,650,177	1,817,823

### 4 主な不用額の理由

施設修繕料について、当初予算1,500,000円を見込んでいたが、実績額が880,000円と見込みを下回ったこと、また、指定管理者管理委託料として修繕費1,000,000円を見込んでいたが実績額が228,800円と見込みを下回ったことなどによるもの。

歳入歳出決算事項別明細書					事業名	決算額
ページ	款	項	目	番号		
346 ～ 349	2 ロープウェイ 費	1 ロープウェイ 事業費	1 ロープウェイ 事業管理費	1-2	夜景観光推進事業共催費負担金	円 22,419,341

## 1 概要

市内宿泊施設等からロープウェイ淵神社駅まで、観光客等をバスにより無料送迎する「夜景観光推進事業」を実施している夜景観光推進実行委員会へ負担金を支出することにより、稲佐山からの夜景を気軽に眺望できる機会を創出し、ロープウェイ利用者の増加を図ったもの。

## 2 事業概要

- (1) 夜景観光推進事業共催費負担金(22,419,341円)  
(2) 実施期間 令和4年4月1日から令和5年3月31日まで  
(3) 運行時間 午後7時から午後10時  
(4) 実施内容  
ア 実施主体 夜景観光推進実行委員会(事務局:一般財団法人長崎ロープウェイ・水族館)  
イ 運行方法等 大型バスによる送迎(1日 4往復)  
ウ 運行ルート(ホテルベルビュー長崎出島⇒長崎みなとメディカルセンター前⇒ANAクラウンプラザホテル長崎グラバーヒル⇒ホテルニュー長崎⇒JR長崎駅構内バス停⇒ザ・グローバルビュー長崎⇒長崎ロープウェイ淵神社駅)  
エ 利用者数

(単位:人)

年度	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4
人数	45,909	45,689	33,202	26,778	7,948	8,605	23,273

### 3 事業費と財源内訳

(単位:円)

事業名	決算額	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他 ※1	一般財源
夜景観光推進事業共催費負担金	22,419,341	—	—	—	22,419,341	—

※1 利用料金受入金(22,419,341円)

(単位:円)

事業名	予算現額	決算額	不用額
夜景観光推進事業共催費負担金	22,974,000	22,419,341	554,659

### 4 事業実施の必要性とその効果

観光客に対して、稲佐山からの夜景を気軽に眺望できる機会を創出することによって、ロープウェイの利用者増が図られ、宿泊・滞在型観光の推進につながるため。

### 5 主な不用額の理由

無料循環バス借上料が予定を下回ったことにより負担金が減したものの。

歳入歳出決算事項別明細書					事業名	決算額
ページ	款	項	目	番号		
346 ～ 349	2 ロープウェイ 費	1 ロープウェイ 事業費	1 ロープウェイ 事業管理費	2-1	【単独】索道施設整備事業費 長崎ロープウェイ設備	円 40,722,000

## 1 概要

長崎ロープウェイ利用者の安全確保を図るため、交換が必要となった部品や設備の更新等の年次改修工事を行ったもの。

## 2 事業概要

(1) 鉄塔設備保守点検委託料(6,182,000円)

ア 件名 長崎ロープウェイ鉄塔設備保守点検業務委託(6,182,000円)

(2) 工事費(15,400,000円)※令和4年度部品製造施工分

ア 件名 長崎ロープウェイ主電動機及び支索シュー更新工事

イ 整備内容

- ・主電動機の更新
- ・支索シューの交換

ウ 契約金額 38,500,000円(うち、令和4年度決算額:15,400,000円、令和5年度支払額:23,100,000円)

エ 契約期間 令和4年9月5日～令和5年7月31日

オ 契約方法 1者随意契約

(3) 工事費(19,140,000円)※令和4年度現地施工分

ア 件名 長崎ロープウェイ緊張索及び走行装置更新工事

イ 整備内容

- ・緊張索の交換
- ・走行装置の交換

ウ 契約金額 31,900,000円(うち、令和3年度決算額:12,760,000円、令和4年度決算額:19,140,000円)

エ 契約期間 令和3年10月4日～令和4年7月29日

オ 契約方法 1者随意契約



### 3 事業費と財源内訳

(単位:円)

事業名	決算額	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債※1	その他※2	一般財源
【単独】索道施設整備事業費長崎ロープウェイ設備	40,722,000	—	—	13,500,000	27,222,000	—

※1 ロープウェイ施設整備事業債(充当率100%)

※2 観光施設整備基金繰入金(293,119円)、利用料金受入金(26,928,881円)

(単位:円)

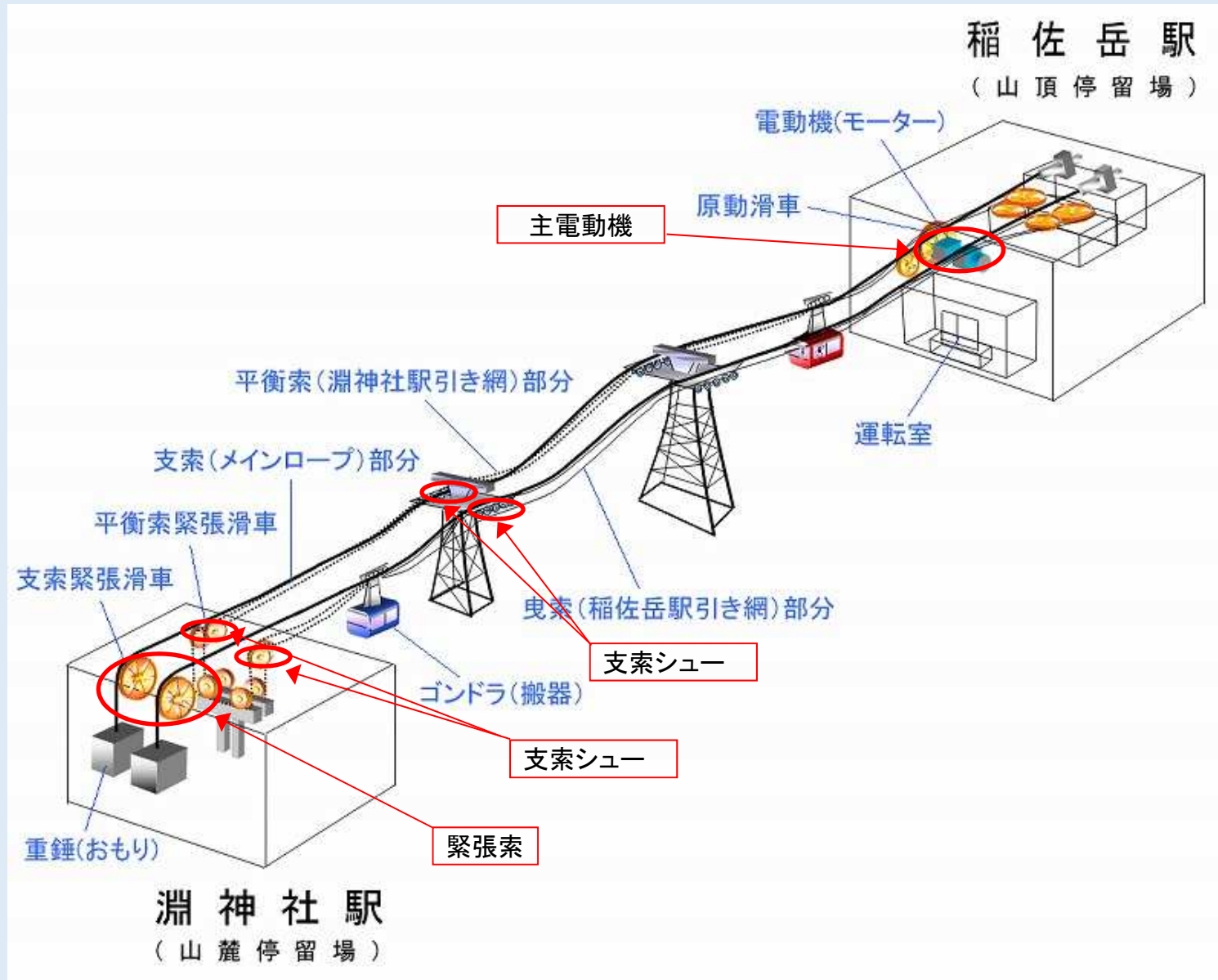
事業名	予算現額	決算額	不用額
【単独】索道施設整備事業費長崎ロープウェイ設備	43,500,000	40,722,000	2,778,000

### 4 主な不用額の理由

ロープウェイ設備整備工事に関する契約差金によるもの。

5 更新内容

(1) 整備工事実施場所



5 更新内容

(2) 整備箇所写真

走行装置(令和4年度施工)



参考(4) ロープウェイ利用者数

1 ロープウェイ利用者数

【単位:人】

年度	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
		令	個人	603	-	-	2,943	4,378	5,776	7,621	11,824	7,833	1,537	1,870
和	団体	-	-	-	16	15	55	325	756	681	25	22	212	2,107
2	無料	24	-	-	80	198	76	213	228	102	65	140	185	1,311
年	計	627	-	-	3,039	4,591	5,907	8,159	12,808	8,616	1,627	2,032	6,699	54,105
度	うち 無料循環バス利用 (夜景観光推進事業)	59	-	-	525	796	761	1,181	1,780	1,188	106	274	1,278	7,948
令	個人	3,561	-	-	3,763	1,475	2,525	6,195	9,310	9,517	5,123	1,296	10,469	53,234
和	団体	113	-	-	28	-	-	577	1,361	953	39	-	199	3,270
3	無料	118	-	-	93	29	90	190	255	128	77	13	120	1,113
年	計	3,792	-	-	3,884	1,504	2,615	6,962	10,926	10,598	5,239	1,309	10,788	57,617
度	うち 無料循環バス利用 (夜景観光推進事業)	613	-	-	786	287	137	869	1,531	1,363	690	292	2,037	8,605
令	個人	6,789	11,624	989	5,915	11,875	9,557	14,270	18,176	15,053	11,781	14,247	20,223	140,499
和	団体	350	679	25	130	97	423	1,282	1,017	574	201	152	1,775	6,705
4	無料	157	268	20	162	207	203	315	209	233	220	172	293	2,459
年	計	7,296	12,571	1,034	6,207	12,179	10,183	15,867	19,402	15,860	12,202	14,571	22,291	149,663
度	うち 無料循環バス利用 (夜景観光推進事業)	1,088	1,768	185	1,312	2,281	1,933	2,205	2,666	2,484	1,932	2,586	2,833	23,273

## 参考(4) ロープウェイ利用者数

### 1 ロープウェイ利用者数

#### ○令和3年度

##### (1) 運休期間

新型コロナウイルス感染症の影響による運休	令和3年4月28日～令和3年6月7日	41日間
	令和3年8月10日～令和3年9月12日	34日間
	令和4年1月21日～令和4年2月20日	31日間
年次改修に伴う運休	令和3年6月7日～令和3年7月9日	32日間
その他悪天候等による運休		1日間
合計		139日間

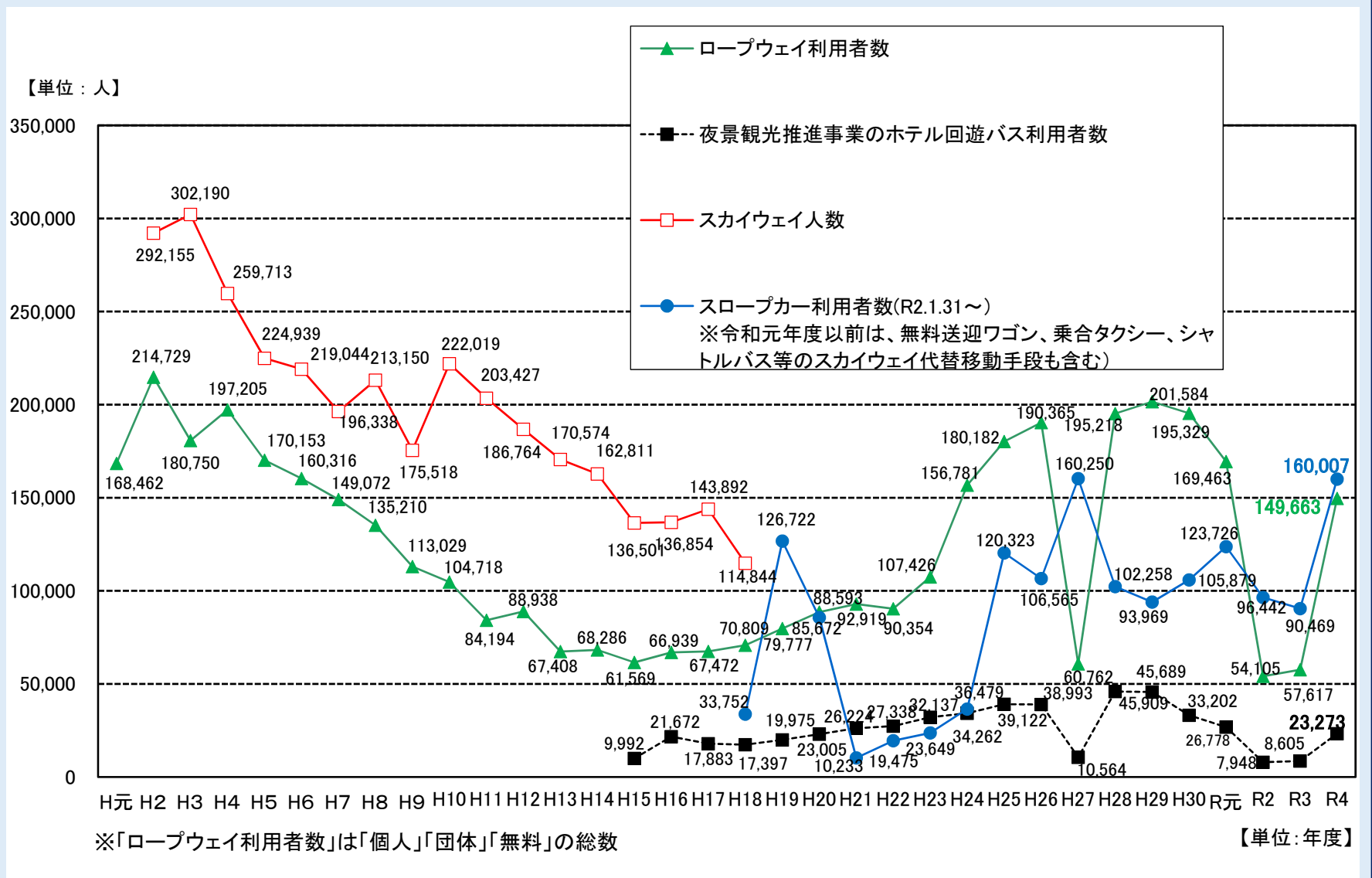
#### ○令和4年度

##### (1) 運休期間

新型コロナウイルス感染症の影響による運休	なし	
年次改修に伴う運休	令和4年6月6日～令和4年7月8日	33日間
その他悪天候等による運休		6日間
合計		39日間

# 参考(5) ロープウェイ等利用者数推移

## 1 ロープウェイ等利用者数推移



## 参考(5) ロープウェイ等利用者数推移

### 1 ロープウェイ等利用者数推移

※平成10年度から長崎市が索道事業運営開始。

※平成10年度以降の人数は、無料利用者を含む。

※平成15年度(7月～11月・5ヶ月間)、平成16年度以降は夜景観光推進事業を実施。

※平成18年4月～10月、長崎さるく博'06を開催。

※スカイウェイは、平成18年12月29日から運休、平成20年3月31日をもって廃止。

※スカイウェイ運休及び廃止に伴い、「稲佐山中腹～山頂」間における代替移動手段として、平成18～19年度は無料送迎ワゴンを運行。平成20年度は乗合タクシーを運行。平成21年度はシャトルバス(28人乗り)を運行(不定期)。

※無料送迎ワゴンの平成18年度の利用者数は、平成18年12月29日から平成19年3月31日までの利用者数。

※平成27年度は5月7日～2月5日までの間、待合所の改築及び耐震化等工事のため長崎ロープウェイ運休。

## 参考(6) ロープウェイ指定管理の概要等

### 1 指定管理者制度の概要

施設の管理運営に民間の能力やノウハウを活用しつつ、市民サービスの向上や行政コストの削減による経済効果が見込めることから、地方自治法第244条の2第3項の規定に基づき、長崎ロープウェイにおいては、平成18年度から指定管理者制度を導入しており、現在、第4期（令和2年4月1日から令和7年3月31日まで）の指定管理期間中である。

### 2 指定管理者の概要 第4期(現指定管理期間)

- (1) 指定管理者名 リージョナルクリエイション長崎・長崎ロープウェイ事業共同体
- (2) 対象施設 稲佐山公園・長崎ロープウェイ  
※今回の指定管理から、稲佐山公園と長崎ロープウェイを一体的に管理することとしたため
- (3) 構成 (代表)株式会社リージョナルクリエイション長崎  
(構成員)一般財団法人 長崎ロープウェイ・水族館
- (4) 指定管理期間 令和2年4月1日から令和7年3月31日まで(5年間)
- (5) 選定方法 公募
- (6) 利用料金制度 (※管理運営にあたっては地方自治法第244条の2第8項の規定に基づく利用料金制を採用している。)
- (7) 長崎市への納付金  
指定管理者は、ロープウェイ事業による利用料金収入のうち、一定の金額を長崎市へ納付することとなっている。  
ア 固定納付金 毎年度、58,600,000円を四半期に分割して納付  
※令和2年度～令和5年度は新型コロナウイルス感染症の影響により全額減額。  
※令和6年度以降については、令和4年度及び令和5年上半期の概ね1年6か月の期間における利用実績を踏まえて収支の再算定を行うこととし、そのうえで固定納付金の有無及び額について協議する。  
イ 変動納付金 各年度の利用料金が176,651,000円を超えた場合は、超えた金額の10%を超えた金額の50%を市に納付する。



## 参考(6) ロープウェイ指定管理の概要等

### 3 指定管理者の主な取り組み

名称	実施年月日	取り組み内容
(1) 無事故運転の継続	年間	営業期間中は輸送に係る関係法令及び安全管理規定等を遵守するとともに、輸送の安全に関する教育・訓練等を実施し、スタッフの安全意識と技能の向上を図った。その結果、昭和34年の開業以来の連続無事故運転を継続することができ、10月に九州運輸局長より無事故表彰を受けた。
(2) 感染症対策	年間	新型コロナウイルス感染予防対策を徹底することで、安心して利用できる施設づくりに努めた。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・消毒の設置</li> <li>・体温測定</li> <li>・搬器内の抗菌</li> <li>・除菌コーティングの実施</li> <li>・利用者の連絡先の記入等</li> </ul>
(3) 広報活動	年間	長崎ロープウェイ公式フェイスブックにより、リアルタイムで情報提供するなど利用者の利便性向上に努めた。
(4) 電子決済導入	年間	電子マネーやスマートフォン決済が可能なQRコード方式などの電子決済に対応するとともに、紙製クーポンについてもデジタル化することで利便性向上に努めた。
(5) 誘客活動	年間	エージェントや長崎市内の宿泊施設及び観光施設などへ各種パンフレット等を送付することにより利用促進に努めた。
(6) 無料循環バスの運行について	年間	市内4宿泊施設と長崎駅から湫神社駅までを結ぶ「無料循環バス」の運行を今年度も実施し、23,273人の利用があった。